

コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長 伊井哲朗  
東京都港区南青山2-5-17

## 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」公表のお知らせ

コモンズ投信株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:伊井哲朗、以下「コモンズ投信」)は、金融庁が求める「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」についての2024年3月末時点実績を本日公表いたしましたことをご知らせいたします。

私たちコモンズ投信は、「顧客本位の業務運営に関する原則」の中で、私たちが考えるお客さま本位とは、「単なる投資に伴う経済的な成果だけではなく、お客さまとの長期的なお付き合いの中で、お客さまの『今日よりも、よい明日』を考える希望に寄り添い、少しでもお役に立つことを実践していくこと」といたしました。

その上で、「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」における2024年3月末の「投資信託の運用損益別顧客比率において、プラスのお客さまの比率は99.7%となりました。

一方、私たちコモンズ投信は、一貫して「積立による資産形成」をお客さまに提案して参りました。また、資産形成の成功の秘訣は「積立を継続すること」として、お客さまに継続いただける仕組みづくりに取り組んで参りました。

こうした趣旨に鑑み、私たちがお客さまに提供できる価値の見える化の一つとして、「5年以上継続して積立を行っている顧客損益比率の推移」を2019年より公表させていただいております。2024年3月末時点の同指標については、プラスの比率が99.9%とほぼすべてのお客さまの資産がプラスとなっております。

また、弊社でお取引いただいているお客さまが、どれくらい長期での資産形成を実践されているかを表す新しい指標として、「保有期間継続率(口座開設年別)」も公表しています。

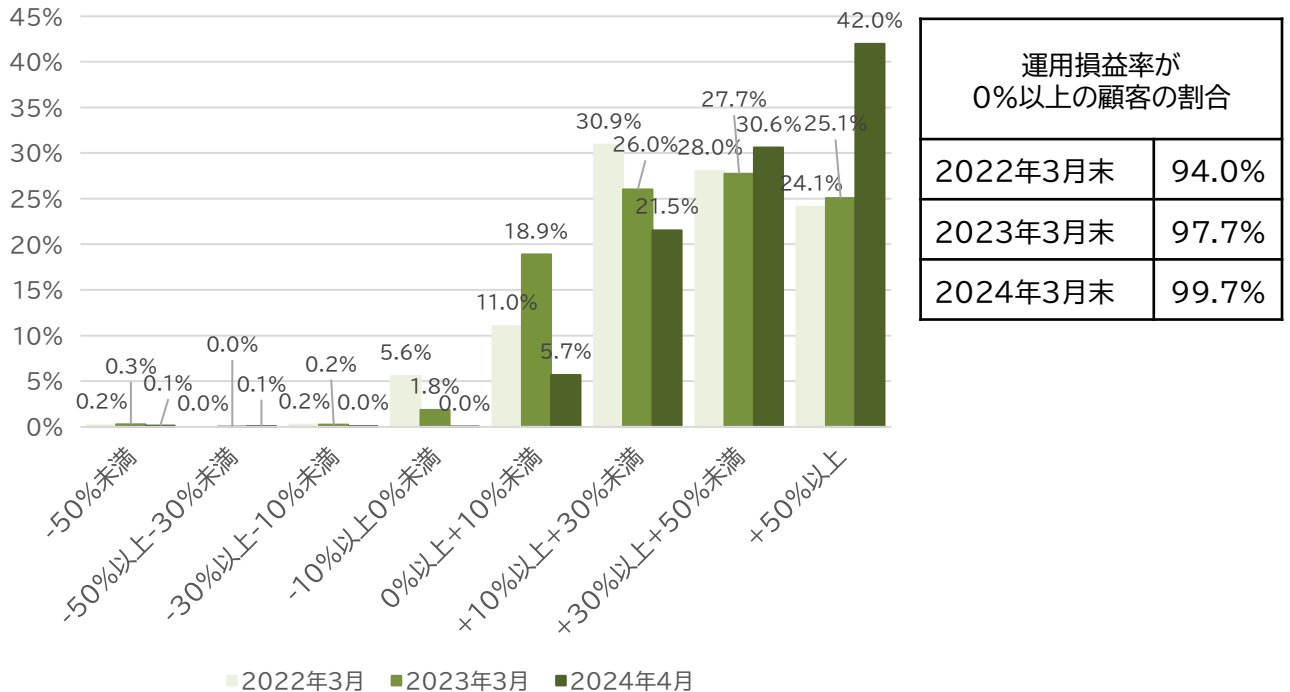
これらは、弊社の「顧客本位の業務運営に関する原則」2-②「私たちは、お客さまの短期的な利益の追求ではなく、お客さまの長期的な資産形成による豊かな生活の実現を重視します。」の実現に向けた着実な一歩と考えております。

今後も、お客さまと共に、「一人ひとりの未来を信じる力を合わせて、次の時代をともに拓く」のミッション実現に向け、役職員一同、変らぬ努力を続けて参ります。

# 1. 投資信託の運用損益別顧客比率

2024年3月末時点の投資信託残高に対するトータルリターンでは、99.7%のお客様が運用損益でプラスとなっています。

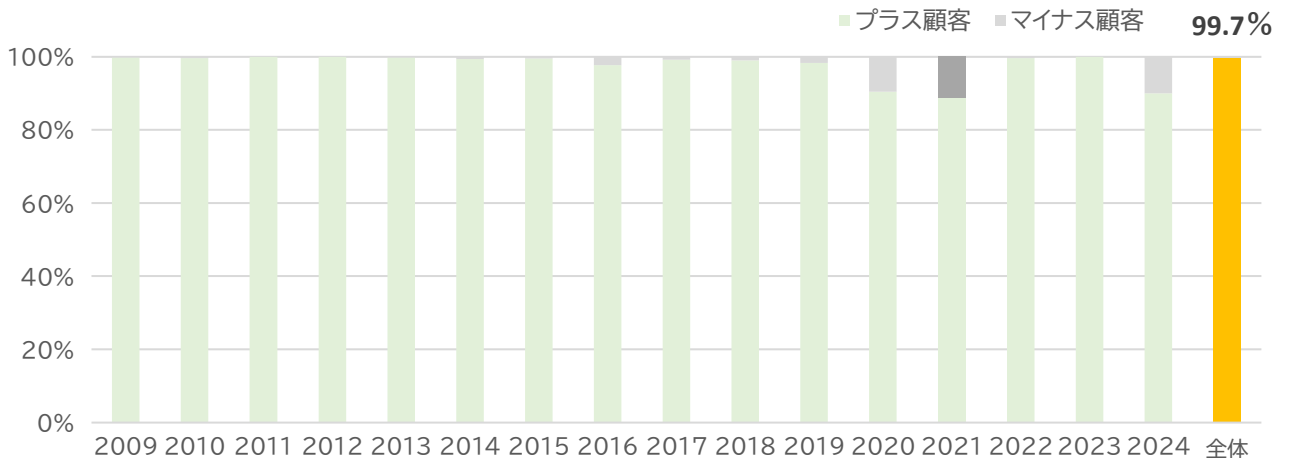
投資信託の運用損益別顧客比率



※各年3月末時点で残高ありの口座が対象(個人口座対象、ただし、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外としてここには含まない)。  
 ※運用損益は、基準日時点の評価金額+累計売付金額-累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて自動的に再投資買付が行われ、累計買付金額には含まれない)。  
 ※累計買付金額、累計売付金額は2009年1月19日(当社の運用開始日)から、各年3月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まず)。  
 ※運用損益率は、上記運用損益を基準日各年3月末時点の評価金額で除して算出。

## (参考1)口座開設年別損益状況分布

(参考1)口座開設年別損益状況分布(数字はプラス顧客の比率)

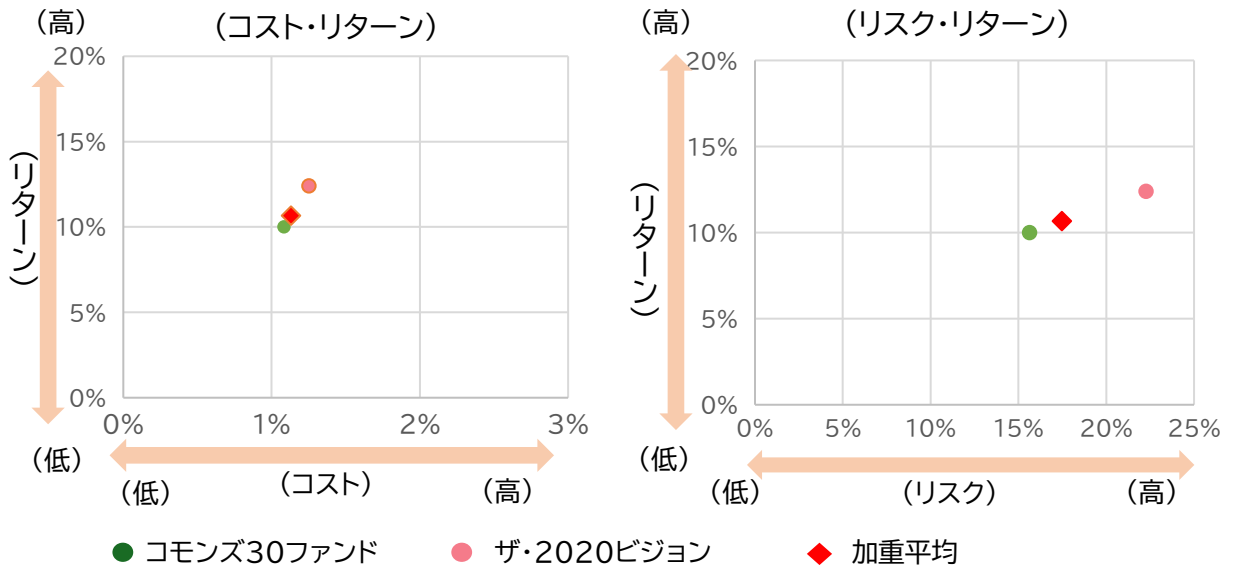


## 2. 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

2024年3月末時点の投資信託残高に対するトータルリターンでは、99.7%のお客様が運用損益でプラスとなっています。

【2022年3月期】

(当社が運用・販売するコモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンを対象に算出)

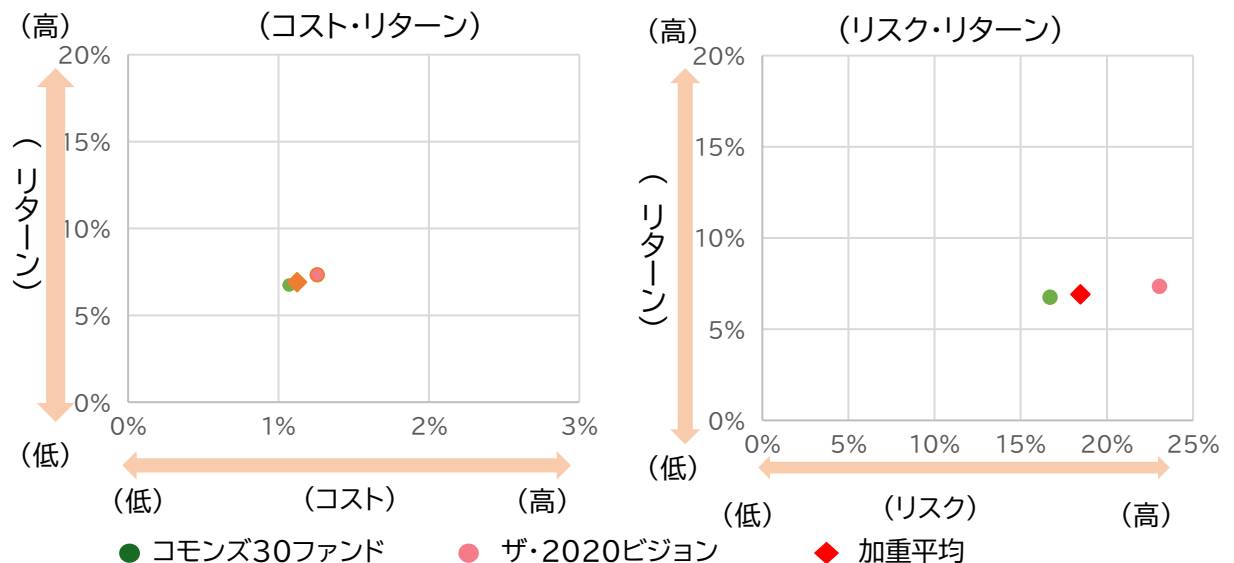


残高加重平均	コスト	リターン
	1.13%	10.66%

残高加重平均	リスク	リターン
	17.48%	10.66%

【2023年3月期】

(当社が運用・販売するコモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンを対象に算出)

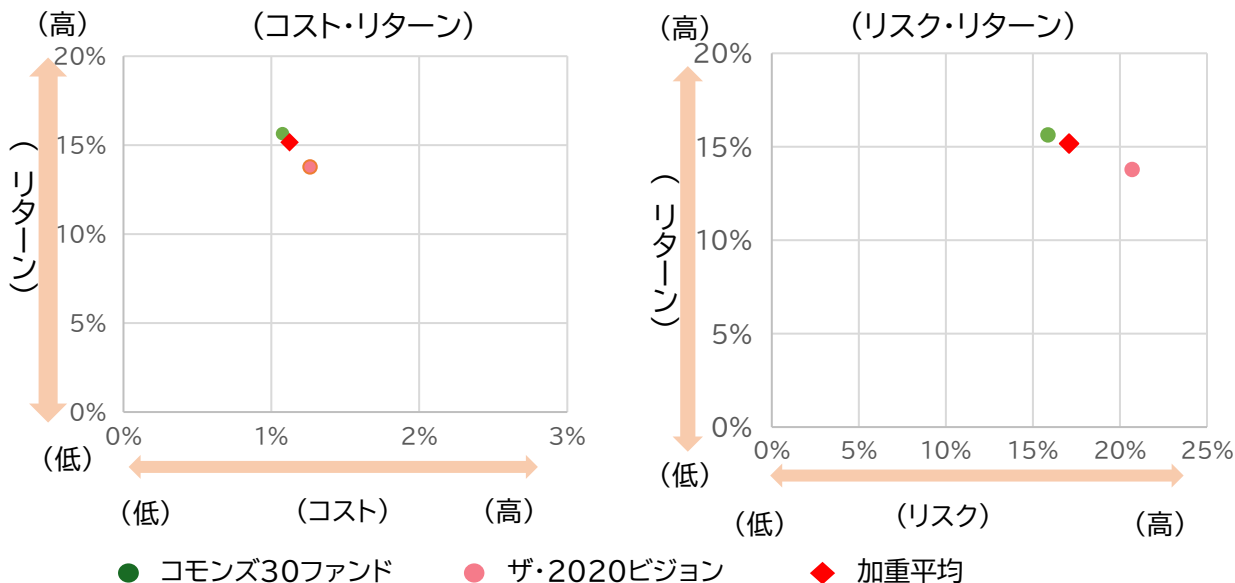


残高加重平均	コスト	リターン
	1.12%	6.90%

残高加重平均	リスク	リターン
	18.47%	6.90%

【2024年3月期】

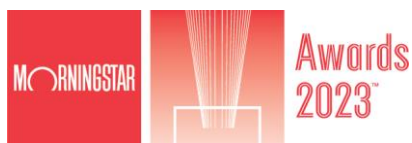
(当社が運用・販売するコモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンを対象に算出)



残高加重平均	コスト	リターン
	1.12%	15.16%

残高加重平均	リスク	リターン
	17.10%	15.16%

※コスト…信託報酬率を使用(販売手数料はありません)。コモンズ 30 ファンドは0.98%(税抜)ただし、純資産総額に応じて信託報酬が減る仕組みを採用、ザ・2020 ビジョンは1.15%(税抜)となっております。  
 ※リターン…過去5年間のトータルリターン(年率換算)。騰落率算出の際に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用。  
 ※リスク…過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)。騰落率算出の際に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用。  
 \*\*当資料で示した実績は、過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を予想・あるいは保証するものではありません。



コモンズ30ファンドにつきましては、独立系大手投資調査会社の米国Morningstar, Inc.が、日本においてはじめて開催した第1回「モーニングスター・ファンド・アワード」国内株式部門において、最優秀ファンドを受賞しました。モーニングスターのグローバルな手法に沿い、モーニングスター・メダリスト・レーティング™を用いて、マネージャー・リサーチチームが「これまで長期にわたって投資家の皆様の成功に貢献し、今後も高いリスク調整後リターンを長期的に提供できる」と判断したファンドに贈られる賞です。

◆モーニングスター・ファンド・アワードについて◆

アワードは、リスク調整済みの中長期的なパフォーマンス実績と、ファンドの将来に関するモーニングスターの評価であるモーニングスター・メダリスト・レーティング™の組み合わせによって決定されます。アワードは毎年行われており、ファンドの1年間のパフォーマンスを重視するのとは適切であると考えていますが、ファンドはリスクを調整後の3年および5年で高い相対リターンを達成している必要もあります。また、長期的にアウトパフォームし続ける潜在力についての将来的な評価を反映するため、モーニングスターのメダリスト・レーティングでポジティブ(金/銀/銅)の評価を得たファンドを選出の際に優先します。

## ○取組みの見える化について

私たちコモンズ投信は、一貫して「積立による資産形成」をお客さまに提案して参りました。また、資産形成の成功の秘訣は「積立を継続すること」として、お客さまに継続いただける仕組みづくりに取り組んで参りました。

こうした趣旨に鑑み、私たちがお客さまに提供できる価値の見える化の一環として、

(参考2)「コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率」

(参考3)「平均積立年数」

(参考4)「口座開設年別、保有期間継続率」

(参考5)「運用損益がプラスの顧客比率の推移」

「5年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移」

を公表いたしております。

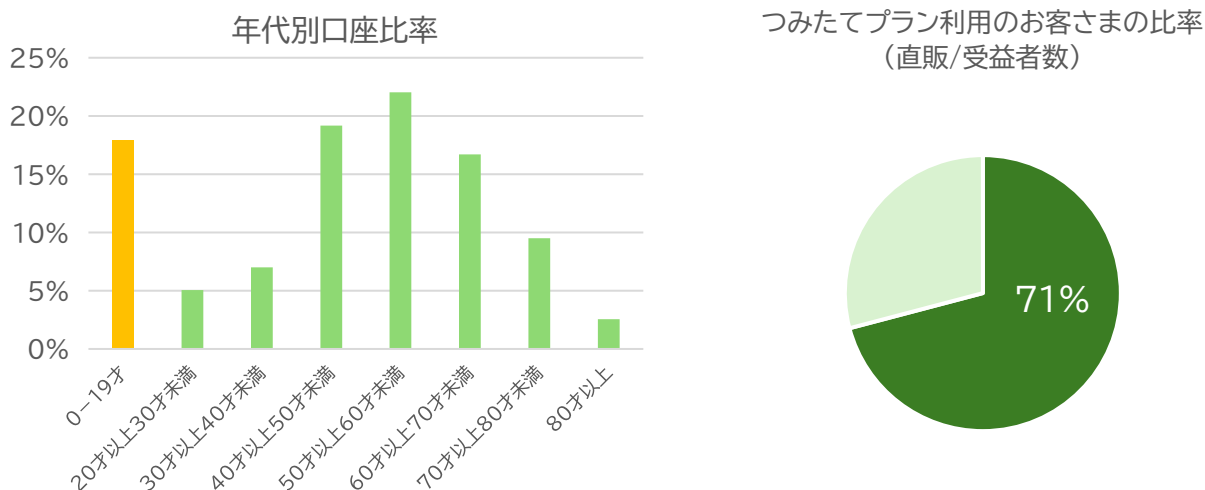
(参考2)「年代別口座比率」からわかるように、コモンズ投信のお客さまは30～50才代の現役世代で約5割、そのお子さま世代となる20才未満を合わせると約7割となります。そのため、ほとんどの方がつみたてプランを利用され資産形成を実践されています。

また、(参考4)「口座開設年別、保有期間継続率」では、口座開設を起点に、一人一人のお客さまの継続期間を月単位で測り、それが2024年3月末時点までにどれくらい続いているかを口座開設年別にその平均を算出しました。結果、2009年から15年経過した今でも、7割以上の方が継続して資産づくりを実践されています。

その結果、(参考5)「運用損益がプラスの顧客比率の推移」を見ると、相場状況による年ごとのばらつきはあるもののプラスの比率が高くなっています。さらには、5年以上継続して積立をされている方を対象とすると、運用損益がプラスの顧客比率はどのタイミングをとっても、ほぼ全員がプラスの結果となっています。

弊社でお取引いただいている方の多くが、「積立投資による資産づくり」を実践され、またその成果を上げていただいております。こうした実績を今後も積み重ね、お客さまの最善の利益に貢献して参ります。

(参考2) コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率 (法人口座を除く/2024年3月末時点)



(参考3) 平均積立年数: **5.7年**

※2024年3月末までに「つみたてプラン」を利用したことがあるお客さまの平均積立年数。

(参考4) 口座開設年別、保有期間継続率

口座開設を起点に、一人一人のお客さまの継続期間を月単位で測り、それが2024年3月末時点までにどれくらい続いているかを「継続率」という形で表し、口座開設年別にその平均を算出しました。

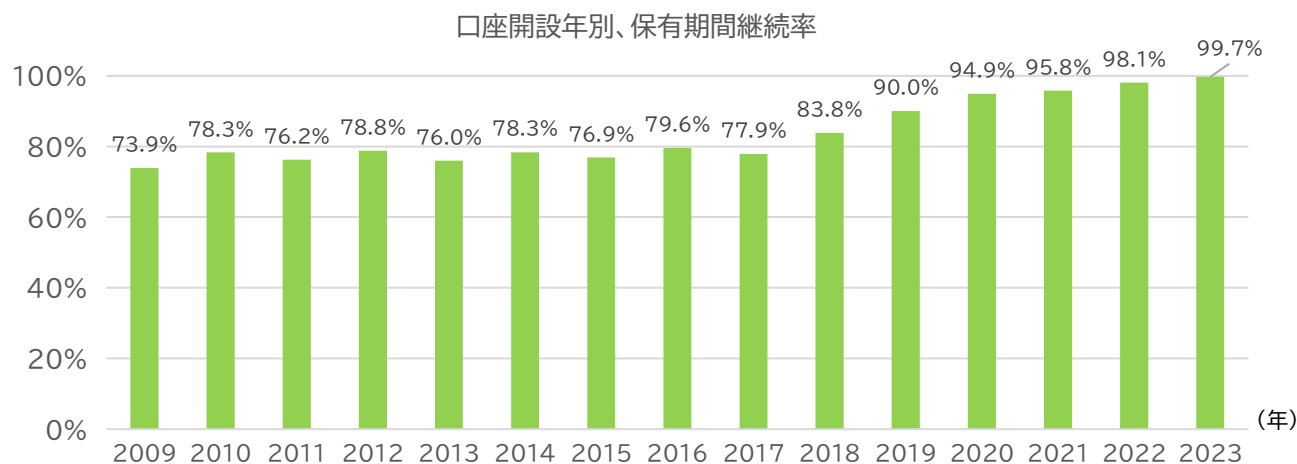
(例) 2022年7月に初めて購入し、2023年2月に全部売却のお客さま

実際に保有していた月数 = 2022年7月~2023年1月 = 7ヶ月

初めて購入した年月から、2023年3月までの月数 = 2022年7月~2023年3月 = 9ヶ月

このお客さまの保有期間比率 = 7ヶ月÷9ヶ月 = 77.8%

2009年の運用開始時点に口座開設をされた方の7割以上が15年経過した今でも引き続き取引を継続されています。こうした背景も、顧客損益比率におけるプラス顧客の比率の高さに繋がっていると考えております。



※保有期間継続率=(2024年3月までの間で、各月末時点で実際に保有していた月数)

÷(その方が初めて購入した年月から、2024年3月までの月数)

※2023年12月末までにコモンズ投信で口座開設をし、購入履歴がある方を対象(法人口座除く)

※保有期間にはコモンズ30ファンド、ザ・2020ビジョンのいずれかのファンドを月末時点で保有していた月をカウントしています。

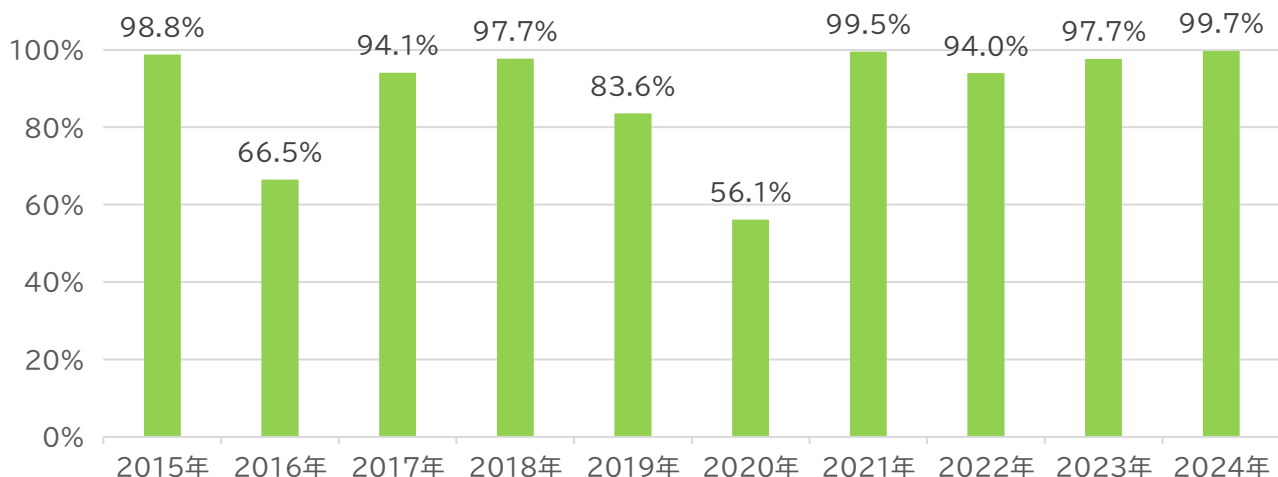
## (参考5) 運用損益がプラスの顧客比率の推移と、

### 5年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移

2015年3月末以降の運用損益がプラスの顧客比率の推移は、その時々々の外部環境やマーケットの変動要因によって、大きく落ち込む局面があったことが確認できました。

一方、同タイミングにおいて、積立を5年以上継続されているお客さまのみを対象とした運用損益がプラスの顧客比率は、どの時点においても、損益がプラスのお客さまの比率は引き続き高水準を維持しております。こうした実績を、より多くのお客さまにお届けできるよう、今後も積立を活用した長期の資産形成の推進を行って参ります。

### 運用損益がプラスの顧客比率の推移

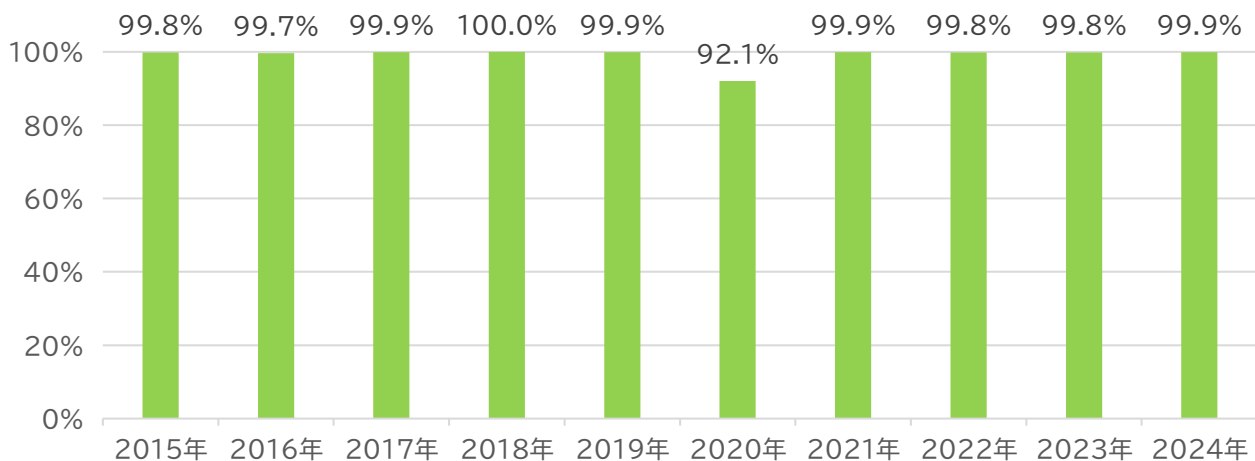


※各年3月末時点で残高ありの口座が対象(個人口座対象、ただし、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外としてここには含まない)。  
※運用損益は、基準日時点の評価金額+累計売付金額-累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて自動的に再投資買付が行われ、累計買付金額には含まれない)。

※累計買付金額、累計売付金額は2009年1月19日(当社の運用開始日)から、各年3月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まず)。

※運用損益率は、上記運用損益を基準日各年3月末時点の評価金額で除して算出。

### 5年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移



※2015年3月末時点より、各基準日時点において、5年以上継続して積立をされている方を対象とし運用損益がプラスのお客さまの比率を算出(積立とスポットを併用されている方も含む)。

## コモンズ30ファンド(30F)、ザ・2020ビジョン(20V)の費用について

購入時手数料	当社で購入される場合は、ありません。
換金時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	(30Fの場合)ファンドの純資産総額に年1.078%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、基準価額は信託報酬控除後のものです。 (20Vの場合)ファンドの純資産総額に年1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、基準価額は信託報酬控除後のものです。 (共通)信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。 ※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## コモンズ30ファンド(30F)、ザ・2020ビジョン(20V)のリスクについて(共通)

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### 【ご留意事項】

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。

その結果、基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は信託報酬等の諸費用がかかります。投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にご確認いただき、ご自身でご判断ください。



コモンズ投信株式会社  
金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第 2061 号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17  
ポーラ青山ビル16階